

《先週の説教・御言葉》

6 / 9 『聖霊の約束』(使徒1 : 3 ~ 9)

長谷川 望牧師

\*使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」(1:4~5)

主イエスは天に昇られる前、わたしのかわりに「もう一人の助け主」すなわち聖霊を送ると約束された。エルサレムでそれを待ちなさい、と弟子たちに言われた。約束通り、よみがえりから50日目に聖霊は弟子たちの上に劇的な形で下った。(使徒の働き2章参照)教会の3大記念日のペンテコステである。

\*「聖霊」は、父、子、聖霊の三位一体の神である。もともと天におられたが、目には見えない形で降りて来られた。その結果どうなったか。一つは「聖霊によるバプテスマを授けられる」。先週教会員のご両親で97歳と94歳のご夫妻が受洗されました。これはまさに聖霊の導きであったが、バプテスマを受けられたので聖霊はお二人の中に宿ってきよめられ、お二人のこれからの人生を正しく、天の御国まで導かれる。

\*父と子が一つであるように、子キリストと聖霊も一つである。「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。」(ヨハネ14 : 26)「しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」(使徒1:8)「わたしの証人となる。」キリスト教は2千年前に起こったイエス・キリストという方に起こった出来事を証言し続ける宗教である。私たちは今、直接イエス・キリストに会ったり、見たり聞いたりできないけれども、聖書という間違いのない神のことばによって、より詳しく、正確にイエス・キリストのことを知ることができる。キリストを信じた者は皆「キリストの証人」である。

\*ペンテコステの日は同盟教団の「国外宣教デー」である。私たちは一人一人が世界宣教という大きなビジョンを持ちつつ、すぐそばにいるまだイエス・キリストを知らない家族や友人知人のために祈り、救いのために手を差し伸べていきたい。聖霊にゆだねて。